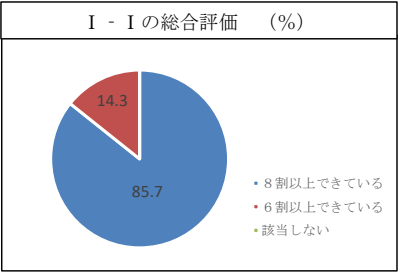
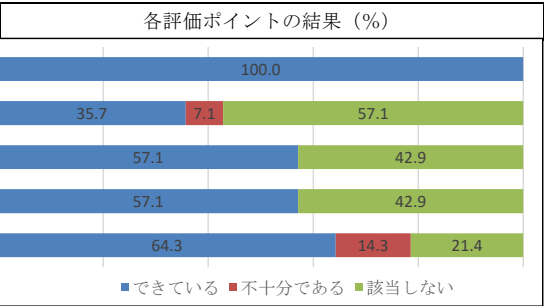


～保育の基本理念と実践に係る観点～

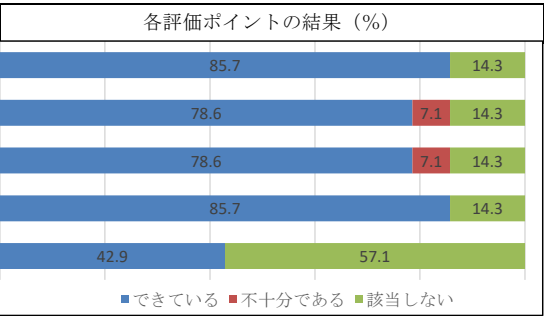
<Ⅰ-Ⅰ 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか>

評価ポイント	すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重している。
	保育指針を読み、全体的な計画に基づき、年齢ごとに指導計画（年・月・週案）を作成している。
	態度、表情、言語などから子どもの意思を汲み取り、指導計画を作成している。
	子ども一人一人の発達の姿や興味の対象の実態を把握して、指導計画を作成している。
	指導計画が、実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価、見直しをしている。



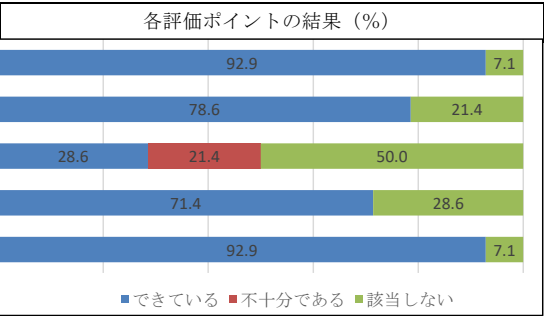
<Ⅰ-Ⅱ-Ⅰ 乳児保育（0歳児）において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか>

評価ポイント	喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育んでいる。
	しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答している。
	一人一人の発育に応じて、はう、立つ、歩くなど、十分に体を動かせるようにしている。
	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができている。
	連絡ノートを活用するなどして、家庭での子どもの様子も把握するように努めている。

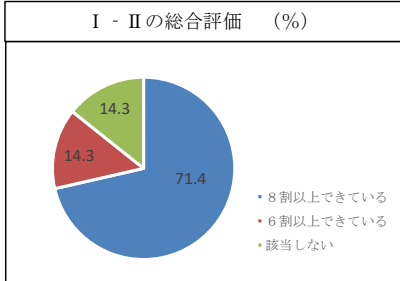
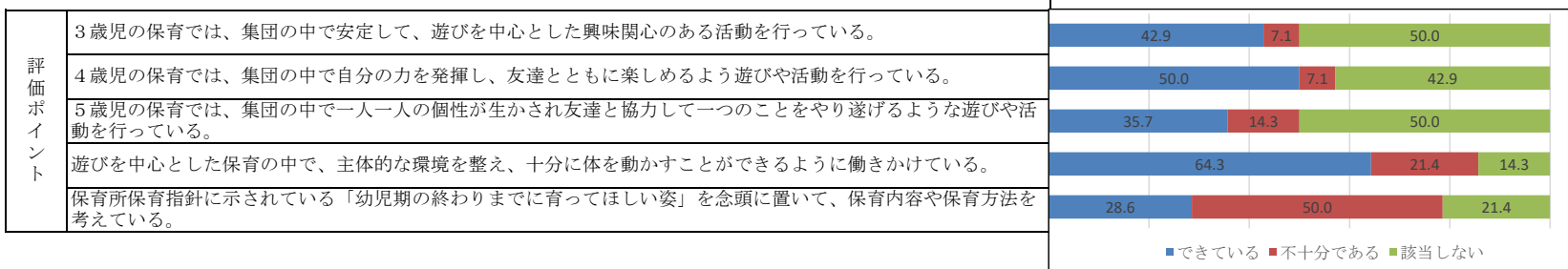


<Ⅰ-Ⅱ-Ⅱ 1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか>

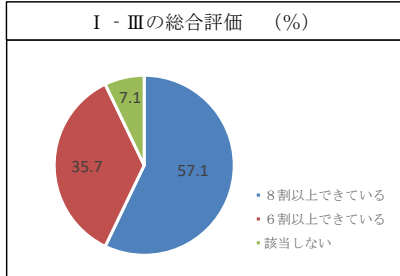
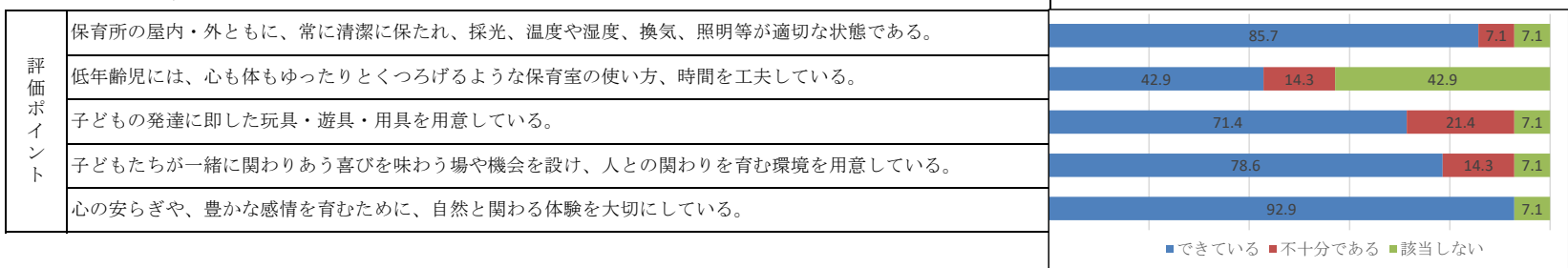
評価ポイント	自分できようとする気持ちを大切に、見守ったり、受け止めたり、応答的な対応をしている。
	体の状態、機嫌、食欲などの日常の状態の観察を十分に行い、子どもに合わせた対応をしている。
	一人一人の発育に応じて走る、跳ぶ、登る、引っ張るなど、全身を使う遊びが楽しめるようにしている。
	探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、活動しやすい環境を整えている。
	つまづきや葛藤、けんかなどを、子どもの育ち（発達）に欠かせないものとしてとらえ、友達との仲立ちをしている。



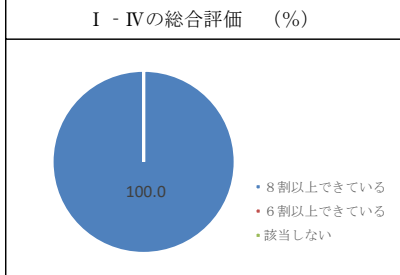
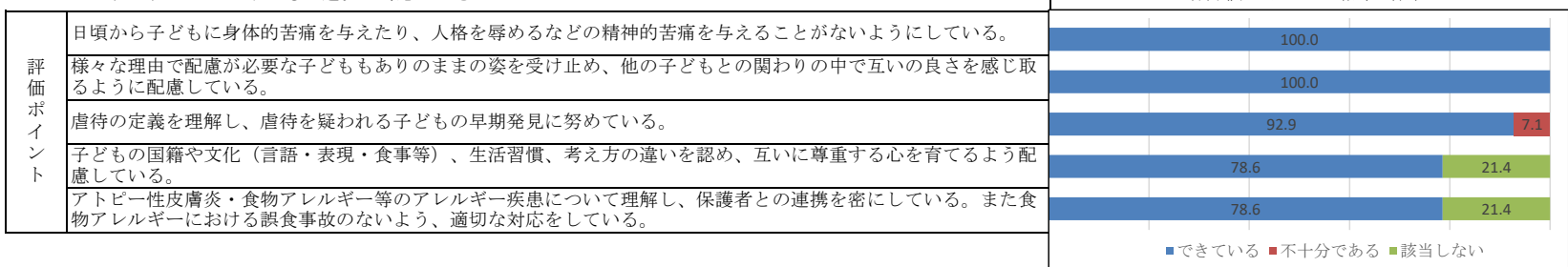
< I-Ⅱ-Ⅲ 3歳以上児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか>



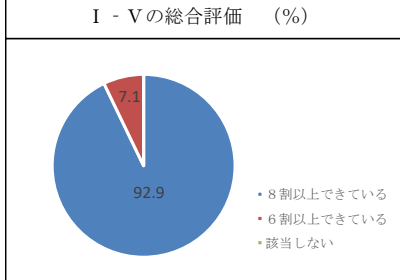
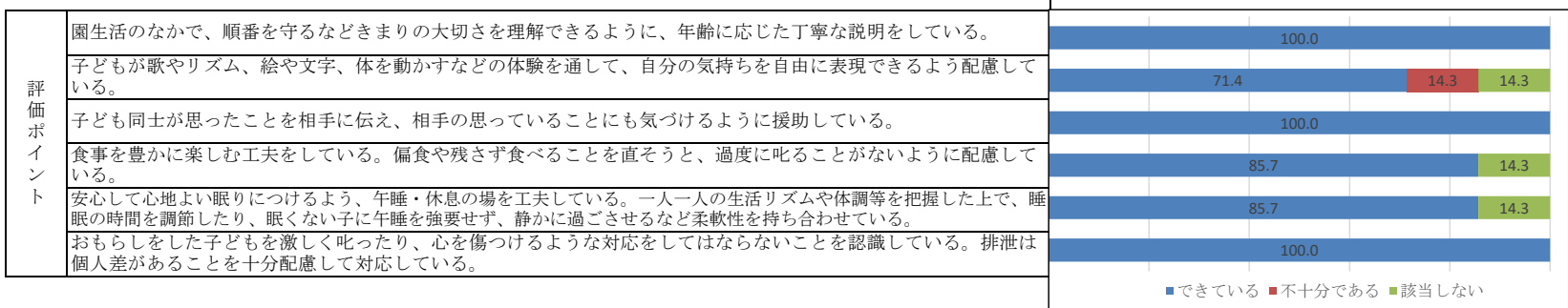
< I-Ⅲ 子どもが快適に過ごせるような環境、子どもの発達に応じた環境が確保されているか>



< I-Ⅳ 一人一人の全ての子どもに適切な対応ができているか>

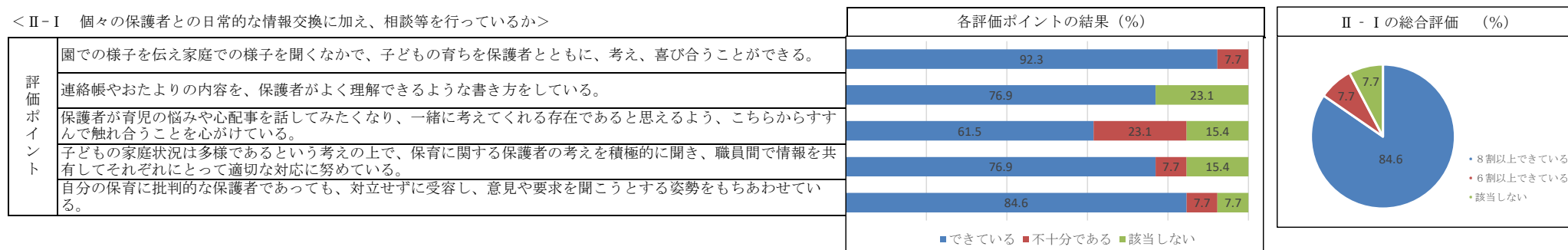


< I-V 保育内容を実施する中で配慮をしているか>

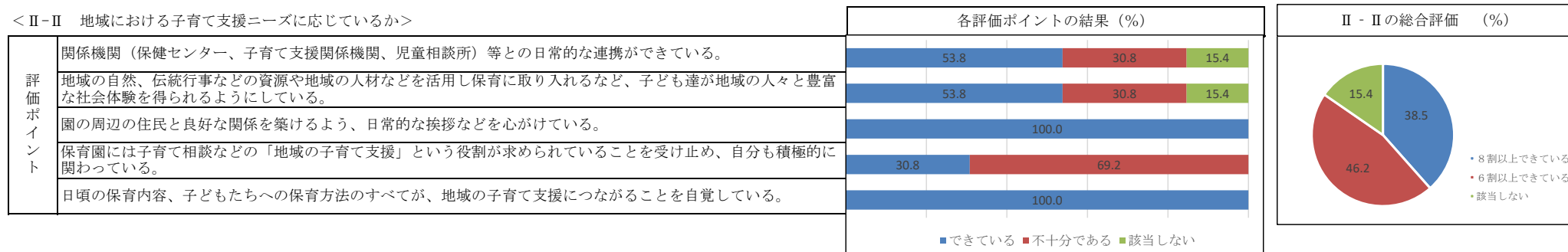


～家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点～

＜Ⅱ-I 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、相談等を行っているか＞



＜Ⅱ-II 地域における子育て支援ニーズに応じているか＞



～保育の実施運営・体制全般に係る観点～

＜Ⅲ-I 保育の理念を理解しているか、また受入れ体制は整っているか＞

